

あすぴあ登録団体 & 市民活動団体の紹介

こんな活動を
しています

Vol.
36

あすぴあ広報部会が
取材しています。

小平・ワーカーズ まちの縁がわ 「ちっちゃいおうち」

あったかくて心地よい、地域の縁がわのような場所があったら……。 「ちっちゃいおうち」はそんな思いがつながり、うまれました。

人気の絵本『ちいさいおうち』から名前をとったという、小平・ワーカーズまちの縁がわ「ちっちゃいおうち」は、仲良しメンバーでの「自分たちの居場所、地域で仲間が集える場所、まちの縁がわのような場所がほしいね」との会話からはじまりました。

くいしんぼうな私は「おうちサロン」のお昼ごはんに惹かれ、いつかは行きたいと密かに思っていたのですが、その他にも「コカリナ教室」や「アロマクラフト」などの講座、小さな子どもからお年寄りまで楽しめる

手あそびや折り紙、絵本の読み聞かせなどを行う「わらべうた遊び」など、さまざまなイベントが行われているそうです。

もう1つ気になっていたのは「手仕事カフェ」。月に1回、編み物や刺繍など好きなものを持ち寄って、おしゃべりやお茶をしながら、ゆったり過ごすというもので、私も前から挑戦しようと思っておいた本を見ながら、毛糸の帽子を完成させてみたいな、と思っていました。

「ちっちゃいおうち」では得意な人が得意なことを教えたり、教わったことを一緒にやってみたり、それぞれが、それぞれで楽しみつつ、人と人が緩やかにつながっていく……。まさしく縁がわのようにぽかぽかと暖か



▲「おうちサロン」に通うことで顔なじみになり、おしゃべりも弾みます

く、陽だまりのような心地よい場所なのです。

参加者は高齢者が多く、残念ながらいまは一時的に休止しているとのことですが、「いつでも活動が再開できるように準備万端です」と。再開したら必ず行きます！是非うかがわせてくださ～い!!

いまからその日が待ち遠しいです。(坂)



▲入口は駐輪スペース側。イラストの看板が目印

DATA

代表●黒澤桃枝
人数●「おうちサロン」に従事するメンバー：6人
会員・サポーター会員登録者：約40名
活動場所●小平市学園東町2-4-16-101
活動内容●おうちサロン(月2回)、コカリナ教室(月2回)、タッピンクタッチカフェ(月1回)、手仕事カフェ(月1回)、アロマクラフト(年4回程度)。その他、梅餅づくり、糖質抜きのおやつづくりなども開催
メール●chityatouchi@gmail.com
Facebook●小平・ワーカーズまちの縁がわ「ちっちゃいおうち」

HP・ブログサークル

HP・ブログサークルは、NPO法人小平シニアネットクラブ(略称KSNC)の一団体です。どんな活動をされているのでしょうか。最近、会の代表になられたという高橋早苗さんに、Zoomでお話を伺いました。

KSNCといえば、大勢の会員が多彩な活動をしていて、勉強会あり、同好会・サークルあり、ボランティア活動も行っている大きな団体。その中で「HP・ブログサークル」は、2010年から活動を始めています。

活動について伺ったところ、「コロナ前は、会員交流会が年1回、講習会が年1回で、それぞれがホームページ(WEBサイト)やブログで情報発信をしていました。中央公民館や元気村まつりで、ブログに載せたものを印刷製本して展示するなどしていました。コロナ禍で集まれなくなって、オンライン会合を始めて、今ではZoomなどで月数回集まっています」とのこと。ZoomのほかにGoogle meet、Facebook、Slack、FaceTimeなどを試しているそうです。

同サークルのサイトには、36ものブログが載っています。中を覗くと、それぞれに工夫を凝らしたつくりになっていて、写真あり、日誌風ありとなかなか楽しいものでした。



▲オンライン例会の様子

ブログを作るサークルというと、高い技術をもっている方ばかりで初心者には入りにくいのでは、と尋ねたところ、「そんなことはないです。超初心者ウェルカムです」とおっしゃっていました。

高橋さん自身は、パソコンを使って在宅ワークをされている方。“どちらかというとインドア派なので、地域のコミュニティに入って、人と交流したいという気持ちでサークルに参加”されたそうです。

「パソコンは仕事柄くわしいので、あれこれ相談されて答えるのも楽しい」とおっしゃっていました。きっとみんなが頼りにしている代表さんなのだなと思いました。(伊)

DATA

HP●<http://www.ksnc.jp/> (NPO法人小平シニアネットクラブ)
会費●KSNC：入会金1000円 年会費3000円
メール●ksnc334kodaira@gmail.com

ガールスカウト東京都第176団

小平で42年も続くガールスカウト東京都第176団の代表・山田登美子さんにガールスカウトの理念、コロナ禍での活動を聞きました。

山田さんはガールスカウトの趣旨に賛同して子どもと共に入団、自分も研修を重ねてリーダーとなり、長いこと176団の代表として団を率いています。

ガールスカウトは、就学1年前の少女から成人女性が参加できて、「自己開発」「人とのまじわり」「自然とともに」を大切に活動しています。

主な活動は、災害時訓練・支援、福祉活動、募金活動、市民まつり、宿泊キャンプ訓練、グリーンフェスティバル、手話訓練、巣箱かけ、クリスマス会などです。

キャンプ訓練では、何も無いところから家型テントの立て方などの基本を学び、災害時対応訓練は技術的なことから、どうしたら人のためになるかも学びます。「きつねばら公園子どもキャンプ場」



▲福祉会館にて、リーダーの指導でSDGsの勉強

で植樹をして、樹木の成長も見守っているとのこと。

スカウトは訓練と学びを重ねて課題に挑戦し、一定レベルに達するとバッジが



▲きつねばら公園子どもキャンプ場にて

もらえます。バッジを取得すると自信が付き励みにもなり、他の仲間にも教えることもあります。親子で参加することもあるので、子どもの新たな一面、成長する姿を見ることも出来るそうです。

昨年コロナ禍で活動が制限されていますが、代表はじめ、ITに強いリーダーたちの努力で、オンラインでミーティングをしたり、リーダーの考えた「STAY HOME」の塗り絵を課題に出して、自分なりのメッセージを加えてブログで団員全員と共有したりしています。ロープの結び方の訓練もして、出来たロープの写真や、作文もオンラインで報告してコミュニケーションを取っているそうです。

山田さんは、早く野外活動もできるようになって、楽しく活動をしたいと話しました。

また、現在スカウト募集もしているとのこと、見学体験も随時できるそうです。(安)

DATA

電話●090-3514-2485 (山田登美子)
メール●buko@cameo.plala.or.jp